

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月 3 : /Mon.3

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111311			
科目番号 /Course Number	10160287			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	認知心理学 : Cognitive Psychology			
担当教員名 / Instructor(s)	/(村上 嵩至) : MURAKAMI Takashi			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1250			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	私たちは一般に、目を開けてさえいれば外の世界が見える。その後に目を閉じて、心の中でその光景を思い浮かべることができるし、その光景の中に何があったか等を言葉にして表現することができる。あるいは、日中に見た光景の夜の姿を想像することさえできる。 認知心理学は、このような心の働き、すなわち知的機能について研究する学問である。 本講義では、人の知的機能のそれぞれにおいて、どのような情報がどのように扱われているかについて概観し、これらを通して人の認知の仕組みと性質について理解することを目的とする。そのため、外界からの情報の入力（感覚、知覚、注意）といった低次認知処理から、情報の貯蔵（記憶、知識）と情報の活用（問題解決、推論、判断）という高次認知処理まで、幅広い内容を紹介する。また、これにより、人の認知傾向や合理性について考えるための知識習得を目指す。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	人の感覚や知覚の機序について理解し、日常的に体験される心理現象について説明できる。 人の記憶や知識の仕組みについて理解し、それらの特徴や性質について説明できる。 人の高次認知処理について理解し、その特性や傾向について説明できる。

	認知心理学の研究法について理解し、具体的な実験について内容を説明できる。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	歴史と隣接領域との関係
	英		
2	日	第 2 回	感覚と知覚 (1): 感じること
	英		
3	日	第 3 回	感覚と知覚 (2): 捉えること
	英		
4	日	第 4 回	感覚と知覚 (3): 知覚の誤り
	英		
5	日	第 5 回	感覚と知覚 (4): 注意と選択
	英		
6	日	第 6 回	記憶 (1): 覚えること、思い出すこと
	英		
7	日	第 7 回	記憶 (2): 思い浮かべること
	英		
8	日	第 8 回	記憶 (3): 忘れること
	英		
9	日	第 9 回	概念と知識 (1): 何かが分かるということ
	英		
10	日	第 10 回	概念と知識 (2): 言語の理解
	英		
11	日	第 11 回	問題解決と推論 (1): 考えること
	英		
12	日	第 12 回	問題解決と推論 (2): 思考の偏り
	英		
13	日	第 13 回	判断と意思決定 (1): 可能性を決めること
	英		
14	日	第 14 回	判断と意思決定 (2): 好みを選ぶこと
	英		
15	日	第 15 回	感情: ホットな認知 (オンデマンド)
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習 (予習・復習等) Required study time, Preparation and review	
日	本講義に対しては、60 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	教科書は使用しない。 各回の参考文献として推奨できるものがあれば、授業の中で紹介する。
英	

英	
---	--

成績評価の方法及び基準 Grading Policy

日	平常点（30％）、定期試験（70％）とし、これらの評価の合計が全体の 60％に満たない者を上記到達目標の最低基準に達していないと判断し、不可とする。 平常点は、毎回の授業で提示する課題（各 2 点）の合計得点とする。課題では、適切に回答できていると判断できる場合には 1 点、よく考えられていると判断できる場合には 2 点とする。 なお、特に優れた内容のものについてはさらに加点する場合がある。また、授業において積極的に発言するなど、授業に対する貢献があった者には 1 点を付与する。 ただし、どれだけ加点されたとして
英	

留意事項等 Point to consider

日	【オフィスアワー】 メールアドレス：takashim(at)koto.kpu-m.ac.jp 所属：教育センター（河原町キャンパス 臨床医学学舎 7 階） 曜日・時間帯：金曜日・9：30～17：00 備考：別の時間帯を希望される場合、個別指導または面談を希望される場合には事前にメールでご連絡ください。 【学生へのメッセージ】 講義中心の授業となります、なるべく多くの研究事例や実験等を紹介しながら説明したいと思います。 また可能であれば、各大学の特色や皆さんの個性が引き出されるような課題や内容を扱ったり、学生間で交流できるようなグループワーク等を実施したりできれば良いと考えていますので、そうした際には積極的に取り組んでほしいと期待しています。
英	